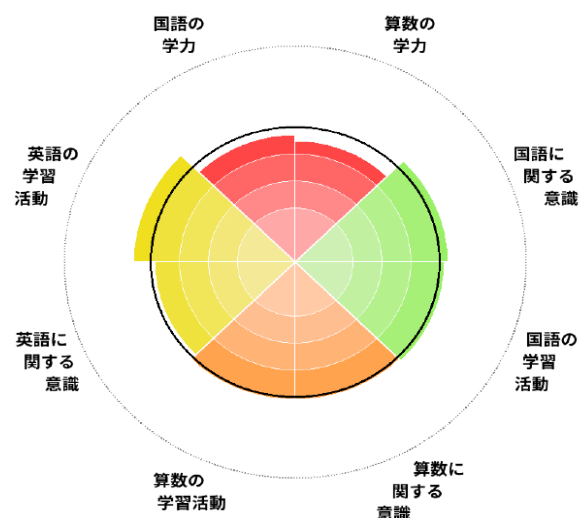


令和8年度 全国学力・学習状況調査における筑西市立小学校等の結果について

1 教科を中心とした学力・学習状況（全国基準）



【国語の学力・学習活動等について】

◇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えることはできている。

◆情報の中から根拠としたい表現を引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。
→ 今後は、引用する目的や引用する時に大事なことについて押さえた上で、引用する部分と自分の考えを区別して書く活動や、引用して書いている文章と引用していない文章を読み比べる活動を通して、引用することの意義について理解し、自分の考えを表現できるように指導していく。

【算数の学力・学習活動等について】

◇帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ることはできている。

◆基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることに課題がある。
→ 今後は、基準量とその2倍や3倍に当たる量と比較することを通して、基準量の1倍や1.5倍の意味を理解できる(基準量の1.5倍に当たる量が、基準量を1と見たときの1.5に当たる量であることを捉えられる)ようにすることで、割合についての理解を深められるように指導していく。

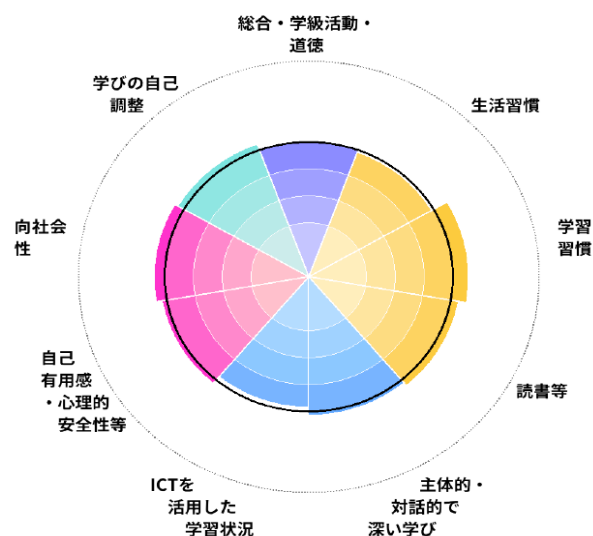
【英語の学習状況等について】

◇家庭学習の課題(宿題)として、PC・タブレットなどを使用して、「週1回以上」英語の音声を読み聞いたり英語を話したりしていると答えた児童は34.8%(全国比+5.1ポイント)であった。

◆「将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり職業に就いたりしたい」と肯定的に答えた児童が49.3%(全国比+3.9ポイント)である一方で、「英語の勉強は好き」と答えた児童は56.9%(全国比-9.8%)であった。

→ 今後は、失敗を恐れずにアウトプットできる環境を整えらるとともに、児童が自分の思いや考えを相手に伝えることができた喜びや達成感を得られるよう、コミュニケーションを行う目的や場面状況を明確にした言語活動を中心とした授業の一層の充実を図っていく。

2 その他の学力・学習状況（全国基準）



【生活習慣、学習習慣、ICTを活用した学習状況について】

・平日にSNS利用や動画視聴などの時間が1日あたり「3時間以上」と答えた児童は43.2%(全国比+5.6ポイント)である一方で、学校の授業時間以外に勉強する時間が1日あたり「1時間以上」と答えた児童は53.4%(全国比+3.5ポイント)であった。

・授業で、PC・タブレットなどのICT機器を「ほぼ毎日」活用したと答えた児童の割合は30.2%(全国比-12.8ポイント)であり、ICT機器で文章やプレゼンテーション(発表のスライド)を作成したり、情報を整理したりすることができると答えた児童の割合も、全国より低い傾向にある。

・SNSや動画視聴等の利用時間が長い児童ほど各教科の正答率・スコアが低く、ICTを活用する自信がある児童ほど各教科の正答率・スコアが高い傾向が見られることから、今後は、ICTを受動的に活用するにとどまらず、主体的・能動的に活用できるよう、授業等を通じて情報活用能力の育成に努めていく。

【自己有用感・心理的安全性等について】

・約8~9割の児童が、「自分にはよいところがある」「先生は自分のよいところを認めてくれている」「将来の夢や目標をもっている」と思っており、その割合は全国よりも高い。

・今後も、すべての子どもが「自分らしく輝ける」安心安全な居場所としての学校づくりに引き続き、努めていく。